

小須戸公民館報

町館 公民館 須戸 小中 須戸 公民館 須戸 公民館
発行所 須戸 公民館
発行人 岡 謙 吾
発行日 毎月 15 日

もっと若い人の参加を!

~21世紀を目指しての公民館の役割~



来たれ若者たち……
~今年の成人式より~

公民館は地域における身近な学習の場、あるいは交流の場として利用されています。

さまざまな教室・講座を開催し、町民の方から利用していただき数多くの受講者が育ってまいりました。その後も自主グループとして活動を続けている団体やその都度参加している方々など大勢利用されています。今回は、公民館活動を振り返り、今後のあり方について考えてみましょう。

公民館の利用では……

公民館利用者の年代を見てみますと、壮年層から高齢層が大半を占めています。時間帯では圧倒的に夜間の利用が多い状況です。

次に、利用者数を見てみますと……

年間、約一万五千人以上延べ人数の方が、昼夜利用しています。なんと、小須戸町の人口の二・五倍以上の人が公民館を利用していることになりました。

この他に、図書室では年間七千人以上の方が利用されています。

す。(内訳は、子供約四千人・大人約三千人)

このように、多くの方から利用されていますが、まだまだ若い年代の方の利用は少ないようです。

参考に、小須戸町の年代層を見てみますと……

- ・十代未満 一、〇六五人
- ・十代 一、三五四人
- ・二十代 一、三四四人
- ・三十代 一、二六〇人
- ・四十代 一、七〇八人
- ・五十代 一、三〇七人
- ・六十代 一、三三〇人
- ・七十代 九七六人
- ・八十代以上 四三二人
- 合計 一〇、七七六人

(平成八年九月末現在) この中で、半数を占める十代・二十代・三十代・四十代の方がどれだけ公民館活動に参加しているでしょうか。若い人の参加が少ないのです。

考えられる要因として

- ①図書室の利用は、ほとんどが勉強を主とした利用で使われている。
- ②反面、勉強以外で何かをしたと思うことも、公民館で募集している教室や講座の内容が若い人たちにコレだというものが少ない・興味を引くものがない。
- ③公民館に行っても同年代の人がいない。

ちょこっと一言 (105)

「還暦記念樹を花とみどり館に」
四十数年ぶり同年代が集まった。中学校を卒業以来初めて会う人も何人かいた。どこかに中学生の面影を残しているのだろうか、ネームプレートが無ければ分からない。しかし、散会する頃にはすっきり当時の中学生の気分に戻るのだから不思議だ。



能登長利さん



新企画で新しいメンバーを募っています
-レディスゴルフ入門教室-

④公民館の使い方や利用できる時間等が分からない。などが考えられます。

ここで、いかに公民館に足を運んでもらうかが課題となってきました。

週休二日制も定着しつつありこれから若者の余暇の利用も大切となります。

そのためには、「公民館」の企画づくり(プログラム)を若い年代の人たちにもあわせていかなくてはなりません。

今までは、公民館で企画し参加者を募集することが多かったのですが、皆さんに呼びかけますので、企画づくりから参加していただければと考えています。

活動の場の拠点として……

若い人にとっては、公民館は何となく行きづらく、年寄りの集まる場所というイメージもあるようです。このような考え方を捨てて若い人が一人一人と公民館を利用するようになれば、どんな若い人も集まるのではないのでしょうか。

「赤信号、みんな渡れば恐くない」と言った言葉

葉が流行りましたが、今の若い人たちが集めるのは、公民館事業で欠けているものは、このことではないでしょうか。

若い年代の方が、「集い」「話し合い」「実行する」一つの例を挙げてみましょう。

★アウトドア
★フットサル
★スポーツ

このように内容についてみんなに呼びかけて、何をしたいかを話し合ってもらおう。

○数人の人に声を掛けて内容を検討してもらおう。

○この人たちが仲間やグループに呼びかけ参加できるか話し合ってもらおう。

○公民館に集まって詳細に企画を練る。

○決定したら公民館職員と打合わせをする。

○公民館報で募集
○事業の実施
(尚、事業を実施するときにはできるだけ同年代の指導者や講師の方から参加してもらおう)

みんなで話し合う・みんなで取り組む・みんなで楽しむことができれば最高です。もちろん公民館も全面的に協力し、土曜日・日曜日の開放や

昔の懐かしい話は楽しいし、話には尽きない。しかし、現在のこれにお互い深く詮索しない。大人の知恵が会を盛り上げる。その時の剰余金により、昭和二十七年小須戸中学校卒業生の還暦記念樹が「花とみどり館」の南側に植えられました。早春に白い大振りの花を咲かせる「コブシ」です。

備品などの貸し出しを考えていきます。

みんなの公民館づくりを自分たちの手で

小須戸町も人口が増え、他市町村から転入された方も大勢います。

今以上に、公民館事業に参加希望する方も増えてくることとしよう。

時代に沿った事業づくりを何処まで出来るか、盛り上げていくことが出来るか皆さんと一緒に考えていき、若い人たちがどんどん参加し、これからの公民館事業を気あるものにしていきたいものです。

読んでの感想やご意見をお寄せいただければ幸いです。

第三十七回県ジュニア美術展
入賞おめでとうございます

坂井絵利奈さん(須戸小須戸幼稚園)
☆奨励賞(絵画部門)
宮田嗣乃くん(新築町五小須戸幼稚園)
能登綾さん(蔵町三小須戸幼稚園)
本多沙貴さん(矢代田三小須戸幼稚園)
坂井佳祐くん(矢代田三小須戸幼稚園)

☆第四十七回町民卓球大会
※紙面の都合上、個人戦のみ掲載いたしました。ご了承下さい。

◎奨励賞(デザイン部門)
増井翔太くん(矢代田三小須戸幼稚園)
白木まりさん(須戸小須戸幼稚園)
川瀬留美さん(新築町二小須戸幼稚園)
スポーツの秋
各種大会大いに盛り上がる

◎家庭婦人の部
三位 小須戸町剣道連盟
◎中学生女子の部
三位 小須戸中学校

◎中学生男子の部
三位 小須戸中学校

◎小学生男子の部
三位 小須戸町柔道スポ少A

◎小学生女子の部
三位 小須戸町柔道スポ少A

◎小学生男子の部
三位 小須戸町柔道スポ少A

◎小学生女子の部
三位 小須戸町柔道スポ少A

◎小学生男子の部
三位 小須戸町柔道スポ少A

◎小学生女子の部
三位 小須戸町柔道スポ少A

◎小学生男子の部
三位 小須戸町柔道スポ少A



がんばれ!!高野孝子さん

☆第十五回新潟県小学生バドミントン大会兼第一回全国小学生バドミントン都道府県対抗団体選手選考会、高野孝子さんが見事準優勝に輝き、来年二月に横浜で開催される都道府県対抗団体戦選手として出場します。健闘を祈ります。

96年公民館活動を振り返って...

96年も余すところあと半月程になりました。公民館では、様々な活動に取り組み大勢の皆さんから参加していただきました。来年も参加しやすい事業づくりを目指して、今年一年の活動を振り返ってみます。

〈家庭教育〉

つくしんぼ

○才から三才までの子を持つ育児者を対象に集っている学級です。子供さんと一緒に「ミニ運動会」や「町の施設巡り」をやって仲間づくりに努めています。

あすなるつ子広場

四才から就学までの子を持つ育児者を対象に集まっています。親を対象に、講義やおやつ作りと学習しています。

〈青少年教育〉

親子チャレンジ教室

小学生とその両親を対象にした学級です。キャンプ活動や畑づくりなど様々な活動を通して団体行動や親子のふれあいを高めています。



〈親子チャレンジ教室〉

〈成人教育〉

おもしろ雑学講座

町在住の方が皆さんに自分の経験や知識をお話ししてくれる講座です。絶対タメになる講座です。

生きがい講座

高齢者を対象とし、「生きがい



〈折り紙教室〉

〈生涯学習事業〉

有志指導者の方を、希望グループへ派遣し、地元で希望の教室を開催しました。

〈文化祭事業〉

町民展・文芸展・活動展等

作品展数二八〇点以上の力作が一堂に介しての町民展や各々

展示開場には工夫を凝らした作品が飾られ、公民館内は文化の秋真っ盛りでした。

◆第十二回芸能祭

今年、「子供ばやし」からスタート。参加団体三十団体の皆さんが踊りや唄等を披露し一年間の練習の成果を見せていただきました。

◆第十三回文化講演会

全国良寛会常任理事の谷川敏朗先生を迎え、「良寛さまの愛と心」を基調としたお話しをしていただきました。良寛さまの生涯を通して、やわらかな心に触れて、改めて良寛さまの広い志に感動した講演会でした。

〈婦人教育〉

婦人学級

各分館(小須戸・矢代田・横水・新保)では地域の中での仲間づくりを通して、レクリエーション、料理、講義など楽しく活動しています。

〈入門教室〉

花いっぱい教室

折り紙教室

陶芸教室(夜間)

レイニスゴルフ教室

今年新たに開設した教室や専門的な教室に大勢の参加をいただき大好評でした。

〈視聴覚・図書・広報活動〉

夏休み・冬休みアニメ映画会

図書室夜間開放(毎週金曜日)

ふれあい会館移動図書

情報「こすど」の発行

◆公民館報毎月一回の発行
今年一年間、公民館活動に参画いただき感謝申し上げます。

◆来年も是非活動に参加していただき、生涯学習に力を入れていきたいと考えております。

◆一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆公民館職員一同

公民館職員一同

公民館休館日のお知らせ

◆十二月二十三日(月・祝)
◆十二月二十八日(土)から翌年一月四日(土)まで年末大掃除並びに公民館内整理の為休館いたします。
◆一月十五日(水・祝)

〈新刊案内〉

中央公民館

- でく 伊集院 静
- 鬼道の女王 黒岩 重吾
- 蒲生邸事件 宮部みゆき
- 眠たい奴ら 大沢 在昌
- 決闘ワルツ 秋月 煌
- ラブ&ポップ 村上 龍
- 無伴奏 小池真理子
- 脇役たちの戊辰戦争 中島 欣也
- 燃えさかる薪 会野綾子
- 20代の私をささえた言葉 加藤 諦三
- 秘境秋山郷を旅する 大藪 宏
- 職人 永 六輔
- 茂吉彷徨 北 杜夫
- 「第三の人生に乾杯」 三田 佳子

- 裕子へ 旅立ちへの愛情物語 有森 茂夫
- 一平 かの子心に生きる凄惨な父母 岡本 太郎
- 神の吹かす風(上下) シドニー・シュルダン 他四十四冊
- ◆ふれあい会館◆
- 津八一もうひとつの世界 皆川喜代弘
- 新潟の社長 あじな話 新潟日報社
- うずまき猫のみつけかた 村上 春樹
- 風のように・嘘ささま 渡辺 淳一
- 皇太后 良子さま 渡辺みどり
- 良寛のころ 中本 環
- 他二十四冊

「確し物」案内

冬休みアニメ映画会のお知らせ
期日 十二月二十五日(水)
①午前十時から十一時三十分
中央公民館三階ホール
②午後二時から三時三十分
ふれあい会館

公民館報の毎号文芸欄に発表

公民館報の毎号文芸欄に発表させていただきます。俳句を募集いたします。公民館の俳句講座で始めたのが昭和六十二年、いま、小須戸俳句教室として二十四名の会員がおります。

小須戸俳句教室

毎月第一、三、五、日午後二時(中央公民館二階会議室にて) 会費 月千円
花代 実費
講師 夏川チエ先生
連絡先 上田 三八二四四六
小林 三八一三六二

「ふれあい」電話相談

◆一月の相談日
十日(金)十七日(金)二十四日(金)三十一日(金)
◆受付時間
午後一時～五時
◆電話番号
三八一三三〇〇

シリーズ

「今、子どもたちは」(4)

楽しく子育て

小須戸幼稚園



親(大人)の行動を真似る(学ぶ)ことは子どもにとって有効な学習方法のひとつです。幼稚園では「親子活動を通して豊かな体験を」と願って先日餅つき会を行いました。

文芸欄

柳 睦まじく炬燵でみかん剥く平和
小林みのる
めぐる春信じて炬燵で雪の詩
波辺信子
なげなく入る炬燵に場所がある
松沢キヨ

歌 冬枯れの刈田の果てなる集落の灯を
大森美恵子
見つつ自転車駆ける
幸せは小さきものかもふんわりと乾
きし家族の衣類をたたむ
本多玲子

短 長く入りて明るし
村山浩子
看板に活けづくりの文字誇張され人
は哀しきものを好みぬ
長井利恵子

俳句 夫と居て父母恋ふる良夜かな
須藤文子
鶴の四代前は紙を売る
吉田素系
秋の海恋うる思ひのたかまれり
佐久間久子
猫に声かけて小春に争わず
中野太浪
一枚づつ刈田ひと雨ごと枯野
森田樫男
山茶花を目当てに道を教へけり
牧野信雄
美しく老ゆるは難し秋茄子
山崎しず枝
灯を消してちろろにまかす厨口
荒木愛子
秋茄子の謠言ひつもぎにけり
吉田美樹子